

自宅での生活に不安

独居増え高まる需要

高齢者向け住宅

長寿のあした

第3部 ついのすみかどこで

を利用している人も多
い。
80代前半の女性は、
約2年前に夫婦で入居
した。自宅で暮らして
いたが、脳梗塞を患っ
て歩行が不自由になっ
ていた上、夫が病気に
なった。離れて住む子
どもが心配し、紹介さ
れた。家庭的な雰囲気
が気に入り、家を離れ
ることを決意。夫は他
居しているのは80
歳から99歳までの18
人。隣には、小規模多
機能型居宅介護事業所
があり、介護サービス
販売車「とくし丸」で

①

純和風の建築物が印
象的だ。町屋をうかが
わせる造りで住居が並
ぶ、軒下には折り畳め
る縁側がある。県産材
がふんだんに使われ、
室内に入れば木のぬく
もりが漂う。

社会福祉法人あさが
お福祉会が2012
年、徳島市大原町外籠
にオープンさせた「あ
さがお邸」。バリアフ
リー構造で、高齢者住
まい法に基づく「高齢
者向け優良賃貸住宅」
に認定されている。徳
島市から10年間、家賃
に対する補助が受けら
れ、「自己負担を抑え、
日本の風情を感じなが
ら暮らしてもらおうと
考えた」と保岡伸聡法
人統括施設長は話す。

計18室あり、各部屋
にはミニキッチンやト
イレ、洗面台などを備



純和風の建築物が印象的な「あさがお邸」
徳島市大原町外籠

購入物をし、ミニキッ
チンで調理を楽しむ。
夫は亡くなる前、妻の
料理を食べるのが好き
で毎食の献立を書いて
スケッチしていた。
女性は「1人でさび
しいと言えはさびしい
ですが、台風が来ても
安心できる。ついのす
まの在り方を大きく
変えることになる。」

介護事業などを展開
する株式会社エージン
グアシストが同市中徳
島町2で運営する「中
徳島の家」も、高齢者
向け優良賃貸住宅とし
て06年に建てられた。
全27室は、キッチン、
風呂、トイレ付き。今
は満室で、10月末で1
室が空く予定。

認定時の管理期間が
終了したものの、入居
者は高齢者。建物内
には、デイサービスも設
けられている。2年前
から暮らす女性(98)
は、約30年前に夫を亡
くし、1人暮らしをし
ていた。不安を募らせ
ていた子どもが、いろ
んな施設の中から選ん
だという。女性は「規
模が大きくなり職員と
の距離も近い。入居者
も同じような境遇でお
友だちになり、楽しい
です」と話した。

長寿化に加え、高齢
者の1人暮らしや夫婦
のみの世帯の増加に伴
い、暮らしに不安を抱
く人が増えている。国
は01年に高齢者住まい
法を制定し、整備に乗
り出した。11年には法
が改正され、新たに生
まれた「サービス付き
高齢者向け住宅」が、
家での生活が困難に
なった時、どこで暮ら
すかは、「ついのすみ
か」の選択でもある。

就労事情を探った第2
部に続き、第3部は住
まいの現状を取材しま
す。(高島卓也)

はす
名称
正式
の居
住の
安定
確保
に関
する
法律

「高
齢者
の居
住の
安定
確保
に関
する
法律」
。高
齢者
を拒
まない
円滑
入居
賃貸
住宅
、専
ら受
け入
れる
専用
賃貸
住宅
、優
良賃
貸住
宅が
制度
化さ
れた
。県
内
で
は
そ
れ
38
棟
、
27
施
設
、
5
施
設
あ
っ
た
。法
改
正
後
は
廃
止
さ
れ
た
が
、
優
良
賃
貸
住
宅
は
認
定
時
の
管
理
期
間
が
終
わ
る
ま
で
存
続
さ
れ
て
い
る

×モ

高
齢者
住
まい
法
の
正
式
名
称
は
「
高
齢
者
の
居
住
の
安
定
確
保
に
関
する
法
律」
。高
齢
者
を
拒
ま
ない
円
滑
入
居
賃
貸
住
宅
、
専
ら
受
け
入
れる
専
用
賃
貸
住
宅
、
優
良
賃
貸
住
宅
が
制
度
化
さ
れ
た
。県
内
で
は
そ
れ
38
棟
、
27
施
設
、
5
施
設
あ
っ
た
。法
改
正
後
は
廃
止
さ
れ
た
が
、
優
良
賃
貸
住
宅
は
認
定
時
の
管
理
期
間
が
終
わ
る
ま
で
存
続
さ
れ
て
い
る